



★教育インタビュー

大分大学附属図書館 読み聞かせボランティア  
井上 美和子さん

# 子どもと大人の 心をつなぐ絵本の世界



▲「読み聞かせ」を始めたのは、約10年前。おさんが通っていた小学校のPTA活動で、読み聞かせサークルの立ち上げに参加したのがきっかけ。現在は、大分大学附属図書館や小学校で読み聞かせを行うほか、近所に住む子どもたちのために、自宅の「けやき文庫」を開放している

教育コラム 国立大学法人『大分大学附属図書館』の賢い使い方

## 検索システムで広がる図書館ライフ



国立大学法人 大分大学  
研究・社会連携部学術情報課  
山崎 信広課長



大分大学ホームページ <http://www.oita-u.ac.jp> から  
「附属施設・センター等」→「附属図書館」→「資料検索」  
へ進むと、様々な検索システムが利用できます。

大分大学の図書館は約20年前から一般の方々に開放しています。今では、年間で1,400人以上の一般利用があり、近くに住む高校生や中学生をはじめ、年配の方々など、2歳から80代まで幅広い年齢層の方に利用されています。大学図書館は、専門書が多いので、特に調べものをしたい方には有効利用してほしいですね。

ところで、大学の図書をホームページで検索できることをご存じですか？ 大分県内の4大学(高専を含む)の図書を検索できる「横断検索」、さらに全国の大学の所蔵する図書のデータベース「INACSYS WebCat(ナクスィス ウェブキャット)」の検索もできます。大分県立図書館との「総合貸借システム」で、大分大学の図書を県立図書館で借りたりもできるんですよ。

図書館をより身近なものにしてくれる、これらのシステムもぜひチェックしてみてください。図書館利用の幅がきっと広がるはずですよ。

みなさんは、ご自分のお子さんと一緒に笑ったり、泣いたり、驚いたり、心を共有できる時間や空間を大切にいらつしやいますか？ 絵本を通して子どもと大人の心と心が自然に通い合う、そんな温かい時間を運んでくれるのが読み聞かせの魅力ですね。読み聞かせは、言葉の発達や創造力の育成などさまざまな学習効果が謳われていますが、私自身、読み聞かせを行うことで、子どもも大人も心が満たされることに何よりも意義を感じています。

「読み聞かせ」には、読む時の声や間の取り方など、読み手それぞれの表現が違うため、同じ絵本でも全く違う楽しみ方ができます。同じ人が同じ本を読んでも、その日、その時によって表現が変わりますから、子どもは飽きることがないんですね。「読み聞かせ」は、ただ楽しいだけでなく、自分のお子さんと一緒に笑ったり、泣いたり、驚いたり、心を共有できる時間や空間を大切にいらつしやいますか？ 絵本を通して子どもと大人の心と心が自然に通い合う、そんな温かい時間を運んでくれるのが読み聞かせの魅力ですね。読み聞かせは、言葉の発達や創造力の育成などさまざまな学習効果が謳われていますが、私自身、読み聞かせを行うことで、子どもも大人も心が満たされることに何よりも意義を感じています。

### 大分大学附属図書館／読み聞かせの日程

- 12/17(土) 14:00～
- 1/28(土) 14:00～
- 2/25(土) 14:00～
- 3/18(土) 14:00～

### 井上さんが選んだ、クリスマスにおすすめの絵本

- ぐりとぐらのおきゃくさま  
[中川李枝子 文・山脇百合子 絵・福音館書店]
- クリスマス・イブのおはなし セット  
[長尾玲子 作・福音館書店]
- サンタクロースってほんとにいるの？  
[てるお かいつこ 文・杉浦範茂 絵・福音館書店]

# たかえ タイムズ

「高江ニュータウン」から、あなたに贈る情報紙

TAKAE  
NEW TOWN  
2005.12.Vol.2

● 次回は平成18年1月21日(土)  
朝刊の掲載予定です